



CLUB PROFILE

川崎フロンターレが描くヴィジョン ～私達が目指していること～

市民クラブの確立

川崎フロンターレは、多くの市民の皆さまに愛され、親しまれ、市民の誇りとなる市民クラブを目指します。そして、地元に着した市民クラブとして、「スポーツで、もっと、幸せな国へ」を実現する為に、地域スポーツの振興を推進していきます。

トップチームの強化

ホームタウンのシンボル、誇りとなるよう勝利に向かってチーム力を向上させることはもちろんのこと、常にひたむきに最後まで諦めない、観る人に感動を与えるチームを目指します。J1に定着し、そしてビッグタイトルを獲得することを目標としています。

●名 称：株式会社 川崎フロンターレ

●所在地：〒213-0013 神奈川県川崎市高津区末長4-8-52

●ホームタウン：神奈川県川崎市

●ホームスタジアム：川崎市営等々力陸上競技場

●収容人数：26,827人



●設 立：1996年11月21日

●資本金：349,375,000円

●株 主：味の素(株)／(株)石川商事／(株)稲村製作所／大川町工業団地協同組合／(株)神奈川新聞社／川崎市／川崎信用金庫／川崎フロンターレ持株会／(有)久地興業／(株)ケアネット／(株)興建／サツマ工業(株)／賛友精機(株)／JXTGエネルギー(株)／ジェクト(株)／(株)ショウエイ／(株)昭特製作所／昭和電工(株)／セレサ川崎農業協同組合／(株)セレモニア／(株)タイツウ／(株)大和／タカネ電機(株)／(株)田村屋／ティーエヌジー(株)／(株)テレビ神奈川／東洋ロザイ(株)／(株)ナガシマ製作所／(株)ニコロー／企業組合労協センター事業団川崎事業所／(株)PFU／富士通(株)／富士電機(株)／プライムコーポレーション(株)／和幸商事(株)
他(36名 50音順)

●名称の由来：フロンターレとは、イタリア語で「正面」「前飾り」の意味。これは常に最前線で挑戦し続けるフロンティアスピリッツ、正面から正々堂々と戦う姿勢を表現したものです。

●エンブレム：川崎市の花「つつじ」、チームマスコットの「イルカ」、チームカラーをあしらひ、世界に向けて開かれた活力と、魅力ある臨海都市「川崎」をシンボライズしたマークです。

●スポンサー数(2017年10月時点)

オフィシャルスポンサー：124社

協賛カンパニー：21社

サポートカンパニー：449社

サポートショップ：722店舗

●クラブヒストリー

1992年	ジャパンフットボールリーグ加盟
1997年	Jリーグを目指す為にプロ化 同年6月 Jリーグ準会員加盟
1999年	J2リーグ 加盟 J2リーグ 優勝
2000年	J1リーグ 昇格 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 準優勝
2001年	J2リーグ 7位 天皇杯 3位
2002年	J2リーグ 4位 天皇杯 ベスト8
2003年	J2リーグ 3位
2004年	J2リーグ 優勝
2005年	J1リーグ 8位 天皇杯 ベスト8
2006年	フロンタウンさぎぬま(フットサルコート) オープン J1リーグ 2位 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 3位
2007年	AFCチャンピオンズリーグ ベスト8 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 準優勝 J1リーグ 5位 天皇杯 3位
2008年	J1リーグ 2位
2009年	J1リーグ 2位 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 準優勝 AFCチャンピオンズリーグ ベスト8 天皇杯 ベスト8
2010年	J1リーグ 5位 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ 3位 AFCチャンピオンズリーグ 出場
2011年	J1リーグ 11位
2012年	J1リーグ 8位
2013年	J1リーグ 3位 Jリーグヤマザキナビスコカップ 3位
2014年	J1リーグ 6位 Jリーグヤマザキナビスコカップ 3位 AFCチャンピオンズリーグ ベスト16
2015年	等々力陸上競技場メインスタンドリニューアル 富士通スタジアム川崎オープン J1リーグ 6位
2016年	J1リーグ年間勝点 2位 天皇杯 準優勝
2017年	J1リーグ 優勝 Jリーグ YBCルヴァンカップ 準優勝 AFCチャンピオンズリーグ ベスト8 天皇杯 ベスト8
2018年	J1リーグ 優勝 Jリーグ YBCルヴァンカップ ベスト8 天皇杯 ベスト8 AFCチャンピオンズリーグ 出場

川崎フロンターレ クラブプロフィール

Vision



若手の育成

川崎フロンターレは、スクール(幼稚園・小学生)、ジュニア(小学生)、ジュニアユース(中学生)、ユース(高校生)の育成システムを持っています。スクールからトップチームまで一貫した指導で選手を育成することにより、地元川崎からより多くのプロ選手を育てていきます。

経営基盤の確立

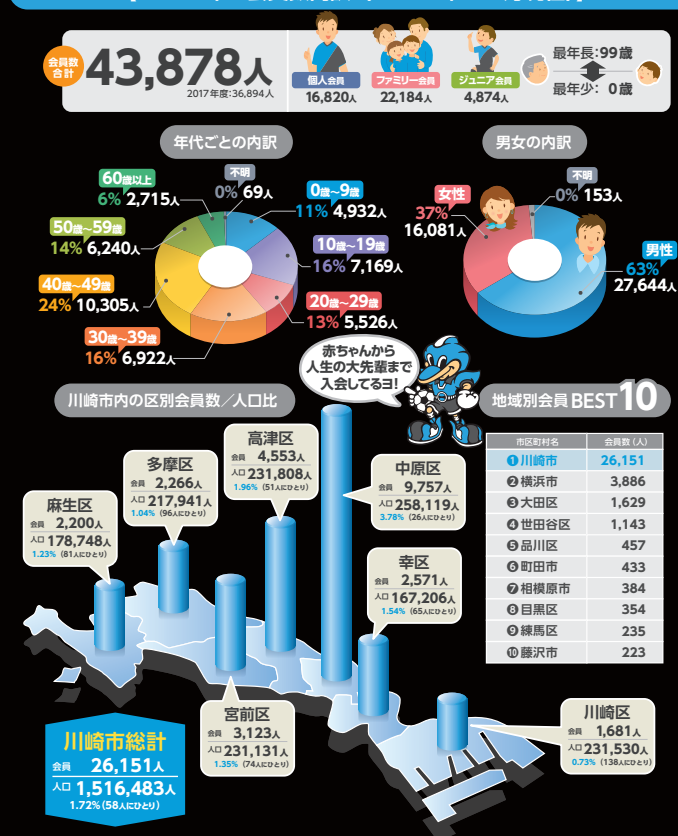
ホームゲームにより多くご来場いただけることを目指します。それに伴い、入場料収入、グッズ販売も増加します。さらに、多くの応援は選手を勇気づけ、勝利に結びつくという最大の効果があります。より多くのお客様のご支援を受けることで、経営基盤の強化を図っていきます。

●クラブの拠点



●後援会会員数について

【2018年の会員数内訳(2018年10月現在)】



●平均入場者数について

【J1 リーグ戦 平均入場者数推移】

